

平成29年09月22日



米国大学院学生会 大学院留学説明会 報告書

---

2017年7月15日 東京工業大学  
文責： 東京工業大学国際交流学生会SAGE 井上雅貴

---

【詳細】

主催： 東京工業大学国際交流学生会SAGE、米国大学院学生会  
後援： 東京工業大学国際教育推進機構、船井情報科学振興財団、米国大使館

開催日時： 2017年7月15日（土） 午後1時30分～午後4時30分

開催場所： 東京工業大学大岡山キャンパス本館H111講義室

講演者： 小松夏実 慶應義塾大学理工学部物理情報工学科卒業  
ライス大学Ph.D.課程進学内定  
源勇気 東工大工学院機械系助教  
ケンブリッジ大学Ph.D.課程  
坂本啓 東工大工学院機械系准教授  
コロラド大学ボルダー校Ph.D.課程

参加者： 東工大生 29名  
他大学 6名（京都、慶應、明治、マサチューセッツ州立など）

【報告】

1. 各講演者の留学についてのプレゼンテーション

3名の講演者にそれぞれ『海外の大学院への留学とは何か』についてのプレゼンテーションをしていただいた。小松夏実さんはこれから渡航をするため、海外の大学院の受験のシステムについて簡単な説明やご自身の海外大学院の受験体験談を語っていただいた。源勇気先生と坂本啓先生には海外大学院での生活やPh. D. 取得後のキャリアについてご自身の経験を踏まえたお話をしていただいた。

## 2. パネルディスカッション

坂本啓先生にファシリテータをしていただき、プレゼンテーションでは触れられなかった部分について、講演者の方々のそれぞれの意見を発表していただきました。至極当然の話ではありますが、留学に対する考え方（例えば、留学は皆がすべきであると考える方もいれば、国内でも学べるのであれば海外に出る必要はないと考える方もいるということなど）を3名の講演者から聞くことができ、少し立ち止まって、自分にとって留学の目的は何かをしっかりと考える機会を参加者に与えることができたと思います。

## 3. 質問タイム

プレゼンテーションやパネルディスカッションでは触れられなかったことで、参加者が興味を持っていることを自由に講演者に質問できる時間を設けました。海外で博士号を取った・取ろうとしている方に話を聞く機会は、必ずしもすべての学生が持っているわけではないため、この質問タイムでも時間いっぱい質問が出てきました。

## 4. まとめ

海外大学院に進学したいと考えている学生は少なくありませんが、『留学』や『Ph. D.』という言葉がすごく高いハードルであると感じている学生はとて多いということが質問タイムでの質問でわかりました。海外大学院留学説明会はそのような学生に正しい情報を提供し、自身の置かれている状況を客観的に見直すことで、海外大学院への進学をより現実味を持った選択肢とすることに非常に役立つイベントであるということを、今回のイベントの準備・当日運営をする中で強く感じました。

最後になりましたが、講演者として登壇をしていただいた小松夏実さん、源勇氣先生、坂本啓先生をはじめ、米国大学院学生会、東京工業大学国際教育推進機構、船井情報科学振興財団、米国大使館の皆さまには多大なご協力をいただきまして、このようなイベントを開催することが叶いました。ありがとうございました。